

平成 31 (2019) 年度 ひろしまバイオデザイン フェローシップコース募集要項

1 趣旨

広島大学バイオデザイン共同研究講座において平成 31 (2019) 年度から新たに開講する医療機器開発のための人材育成プログラムのフェロー (受講生) を次のとおり募集します。

2 コンセプト

- 約 20 年前にスタンフォード大学において始まった医療機器開発のための実践的な人材育成プログラムであるバイオデザインについて学ぶことができます。ファカルティ (教員) は全インド医科大学のインド・バイオデザイン SIB の修了生であり、プログラムの内容は SIB の課程をベースにしています。
- 我が国では、東北大学・東京大学・大阪大学においてプログラムが 4 期目を迎えており、既にスタートアップ 2 件、バイアウト 1 件が成果として出ています。
- フェローは、医師などの医療従事者、デザイナー、エンジニア、経営企画・管理、ファイナンスなど異なるバックグラウンドから、多様性のあるチーム編成を行います。
- コースの中心となるのは医療現場観察に基づくアンメットニーズ (まだ満たされていない潜在的なニーズ) の探索から、世の中に本当に必要とされている医療機器の開発を目指しますが、ビジネスにイノベーションをもたらす手法としてのデザイン思考を学ぶことにより、医療機器以外の企業における製品開発等のプロセスへの応用も可能です。
- 併せて、大学院における関連科目の履修によりフェローシップに必要な知識・スキルの習得を目指すとともに、正規の単位付与を行います。

3 開講場所

(1) ラボ

広島大学霞キャンパス (広島市南区霞 1-2-3)

(2) 医療現場観察 (予定)

広島大学病院 (広島市南区霞 1-2-3)

県立広島病院 (広島市南区宇品神田 1-5-54)

独立行政法人国立病院機構 広島西医療センター (大竹市玖波 4-1-1)

4 開講期間

12 か月間 (平成 31 (2019) 年 4 月～平成 32 (2020) 年 3 月) フルタイム (原則として週 5 日のコミットメントが必要となります。)

5 募集定員

4名

6 応募資格

- 原則として、大学院修士課程以上を修了、もしくはヘルスケア関連産業等における実務経験5年以上の方
- 医療機器イノベーションやデザイン思考に興味のある方
- インドとのやりとりに必要となるため、できれば英語によるコミュニケーションが可能な方

7 応募書類

- (1) 申込書
- (2) 最終学校の卒業・修了証明書及び成績証明書
- (3) 小論文 (A4一枚程度)

バイオデザインで学びたいこと、あるいはバイオデザインを学んでやりたいこと

- (4) Resume もしくは CV (英語)

8 選考方法等

- (1) 募集期間 平成30(2018)年10月26日(金)から12月21日(金)まで
- (2) 選考期間 平成31(2019)年1月
- (3) 選考方法 書類審査及び面接を実施の上、決定します。

9 費用

- (1) 受講料

本学所属の学生以外は、受講料を徴収します。詳細はお問合せください。

- (2) その他経費

- フェロシップコース受講中に発生する食費、交通費、宿泊費等については、別途実費負担をお願いします。詳細はお問合せください。
- その他、知財管理の関係で経費が生じた場合の取扱いについては、フェロシップ開始前に、本学と協議の上、あらかじめ定めるものとします。

10 指導スタッフ (予定)

- (1) プログラムディレクター

全インド医科大学 AIIMS SIB フェロシップディレクター Prashant Jha

(2) ファカルティ

共同研究講座准教授 木阪智彦 (2017SIB フェロー)
共同研究講座助教 松浦康之 (2018SIB フェロー)
客員准教授 川瀬真紀

(3) メンター

(一社) ジャパンバイオデザイン協会 中尾浩治
スタンフォード大学 池野文昭
日印再生医療センター サミュエルアブラハム
薬事コンサルタント 河原敦
東京大学 吉本敬太郎
鳥取大学医学部附属病院 藤井太平 (2016SIB フェロー)

副学長 (研究倫理担当) 木原康樹
トランスレーショナルリサーチセンター長 栗栖薫

1.1 大学院科目

大学院において開講する次のバイオデザイン関連科目の履修を義務付けています。
(科目等履修生の出願手続きについては別途ご案内します。)

- ・バイオデザイン概論 (平成 30 (2018) 年度から開講, 前期 15 コマ)
- ・バイオデザイン演習 I (平成 30 (2018) 年度から開講, 前期 15 コマ)
- ・バイオデザイン演習 II (平成 31 (2019) 年度から開講予定, 後期 15 コマ)
- ・バイオデザイン実習 (平成 31 (2019) 年度から開講予定, 通年 30 コマ)

1.2 プログラムスケジュール (予定)

時期	区分	内容	備考
4月	DISCOVER	開始式 チームビルディング オリエンテーション・医療現場観察①	実習 (～2月)
5月		医療現場観察② (観察と課題の特定)	
6月		医療現場観察③ (ニーズの記述)	
7月	DEFINE	ニーズの選択① (疾病の基礎・既存の治療法)	
8月		ニーズの選択② (ステークホルダーと市場の分析)	
9月		ニーズの選択③ (ニーズの絞込み)	演習 II
10月	DESIGN	コンセプト創出① (アイデア出し・解決策の創出)	
11月		コンセプトの創出② (プロトタイプ製作)	
12月		コンセプトの創出③ (最終コンセプト選択) Medtech Summit 出席 (インド)	
1月	DEPLOY	事業化① (開発戦略とビジネスモデル)	
2月		事業化② (計画立案と実践)	
3月		修了式	

1.3 修了後の取扱い

(1) 知的財産等の取扱い

創出された知財、または知財につながるニーズ、アイデア等の、フェローシップコースにおけるチーム活動の成果については、原則として、本学に帰属するものであり、必要に応じて一定期間、有償で優先的に実施権を付与するなど、詳細については、フェローシップ開始前に、本学と協議の上、あらかじめ定めるものとします。

(2) 証明書

コース修了後には、修了証明書 (サーティフィケート) を発行します。(学位の発行はありません。)

1.4 お問い合わせ・申込み先

広島大学トランスレーショナルリサーチセンター バイオデザイン部門 (担当: 迫)

住所: 〒734-8553 広島市南区霞 1-2-3 共用棟 1-3F

電話: 082-257-1992

FAX: 082-257-1993

メール: biodesign@office.hiroshima-u.ac.jp